

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。

最終需要の動向をみると、公共投資は高水準で推移しているほか、設備投資は底堅い動きとなっている。個人消費は厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。住宅投資は弱めの動きとなっている。

こうした中、生産は一部に持ち直しの動きがみられている。雇用・所得環境は弱めの動きが続いている。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を下回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・高水準で推移

8月の公共工事請負金額は、県、市町村は減少したものの、国などが増加したため、全体では前年を上回った（前年比10.7%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 6月	7月	8月
山形県	13.2	18.6	26.4	▲48.1	10.7	10.7

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資・・・底堅い動き

7月の建築着工床面積（民間非居住用）は、製造業、医療・福祉などは増加したものの、卸・小売、農林水産業などが減少したため、全体では前年を下回った（前年比▲4.7%）。

こうした中、6月短観における2020年度の設備投資計画（全産業）は、前年度を上回る計画（前年度比8.0%）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 5月	6月	7月
山形県	▲12.0	▲11.5	▲6.1	366.1	26.7	▲4.7

<資料>国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2020年6月山形短観） 前年度比、%

山形県	2018年度(実績)	2019年度(実績)	2020年度(計画)
全産業	3.2	▲22.6< 5.6>	8.0<▲4.6>
製造業	▲9.0	▲27.1< 9.1>	11.2<▲9.1>
非製造業	26.5	▲16.3< 1.7>	4.0< 2.1>

<資料>日本銀行山形事務所

< >内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている

7月の百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、飲食料品などが堅調なものの、衣料品などが減少し、前年を下回った（前年比▲3.7%）。コンビニエンスストアは、外出者や帰省者などの減少から前年を下回った。ドラッグストア、ホームセンターは、衛生用品が好調なほか、巣ごもり需要の継続などから、前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2019年 10~12月	2020年 1~3月	4~6月	2020年 5月	6月	7月
全店	▲2.3	▲4.0	▲3.7	▲1.3	r▲3.3	▲3.7
既存店	▲1.5	0.1	1.4	3.7	r1.8	1.1

<資料>経済産業省

8月の乗用車新車新規登録・届出台数は、メーカーによる生産調整の影響は解消したものの、前年を下回った（前年比▲15.2%）。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 6月	7月	8月
乗用車 合計	10.3	▲9.6	▲15.8	▲20.0	▲8.2	▲15.2
普通車	10.0	1.1	▲24.2	▲30.6	▲18.6	▲20.0
小型車	1.1	▲10.9	▲11.5	▲21.6	▲17.1	▲16.7
軽四輪	19.0	▲16.2	▲12.9	▲9.9	10.0	▲10.2

<資料>東北運輸局

この間、サービス消費での新型コロナウイルス感染症の影響は続いており、厳しい状態にあるが、一部に持ち直しの動きがみられている。

(4) 住宅投資・・・弱めの動き

7月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲が増加した一方、貸家が減少し、全体では前年を下回った（前年比▲0.2%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 5月	6月	7月
山形県	▲4.1	▲35.6	▲19.5	▲33.9	▲42.6	▲0.2
持家	▲25.4	▲17.9	6.8	▲8.3	▲17.3	10.6
貸家	▲1.6	▲41.7	▲47.9	▲68.7	▲50.8	▲29.3
分譲	115.7	▲51.1	▲44.9	7.7	▲71.4	74.0

<資料>国土交通省

3. 生産・・・一部に持ち直しの動きがみられている

6月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、4か月振りに前月を上回った(前月比2.8%)。業種別には、電子部品・デバイスなど6業種が低下したものの、輸送機械、食料品、化学など16業種が上昇した。6月の在庫指数(季節調整済)は、前月を上回った(前月比5.0%)。

(図表7) 鉱工業指数

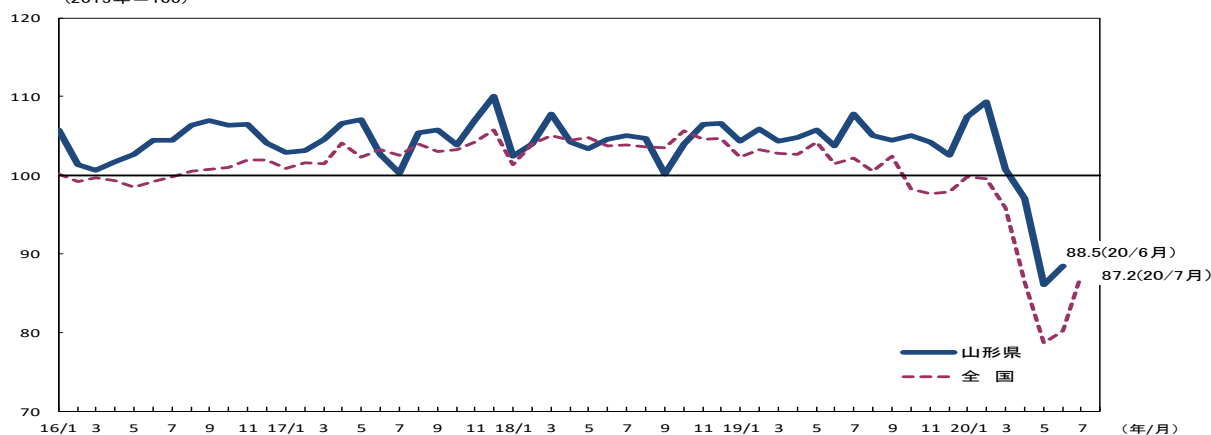
2015年基準

山形県		2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 4月	5月	6月
生 産	季節調整済前月比%	r ▲0.5	r ▲1.6	r ▲7.8	r ▲3.7	▲11.3	p 2.8
	原指数前年比%	r 6.6	r ▲0.6	r ▲1.8	r ▲5.7	▲19.8	p ▲11.7
在 庫	季節調整済前月比%	r 1.0	r 0.2	r 8.1	r ▲2.4	▲1.4	p 5.0
	原指数前年比%	r 7.7	r 7.0	r 7.8	r 11.2	6.4	p 9.5

<資料> 山形県

(図表8) 鉱工業生産指数(季節調整済)の推移

(2015年=100)



<資料> 経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・弱めの動き

7月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.04倍となった。業種別の新規求人数は、新型コロナウイルス感染症の影響から、卸・小売、製造業、サービス、医療・福祉、宿泊・飲食サービスなど多くの業種で減少した。7月の雇用保険受給者は、前年を上回った(前年比16.3%)。

(図表9) 雇用関係指標(その1)

倍、%、<>内は前年比

山形県	2019年 10~12月	2020年 1~3月	4~6月	2020年 5月	6月	7月
有効求人倍率	1.46	1.30	1.06	1.10	1.06	1.04
完全失業率	1.7	2.1	2.4	—	—	—
雇用保険受給者	<11.7>	<19.4>	<20.6>	<4.8>	<20.6>	<16.3>

<資料> 厚生労働省、総務省、山形労働局

(注) 有効求人倍率、雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

6月の常用雇用指数は、前年を下回った（前年比▲1.6%）。業種別には、医療・福祉、運輸・郵便、教育・学習支援などは前年を上回ったものの、宿泊・飲食サービス、製造業、卸・小売、生活関連サービスなどは前年を下回った。

6月の所定外労働時間は、前年を下回った（前年比▲19.3%）。業種別には、生活関連サービス、教育・学習支援などは前年を上回ったものの、製造業、卸・小売、医療・福祉、宿泊・飲食サービスなどは前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 4月	5月	6月
常用雇用指数	1.2	1.4	0.9	▲1.3	▲2.0	▲1.6
所定外労働時間	▲7.3	▲10.9	▲6.2	▲14.4	▲26.0	▲19.3

〈資料〉山形県

6月の現金給与総額（名目賃金指数）は、卸・小売、サービスなどは増加したものの、教育・学習支援、運輸・郵便、製造業などが減少したため、前年を下回った（前年比▲3.2%）。

6月のきまって支給する給与は、前年を下回った（前年比▲3.1%）。

(図表 11) 所得関係指標 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 4月	5月	6月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.7	3.6	▲1.0	▲3.4	▲4.1	▲3.2
きまって支給 する給与	0.9	1.5	▲1.3	▲3.7	▲3.4	▲3.1

〈資料〉山形県

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

8月の企業倒産（負債額 10 百万円以上）は、件数（5 件）、負債総額（3.1 億円）とも低水準（＜前年同月＞倒産件数 4 件、負債総額 3.6 億円）。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 6月	7月	8月
件数	6	6	1	2	4	5
負債総額	3.0	4.2	3.0	0.4	3.5	3.1

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を下回った

7月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、エネルギー価格の下落などから、全体でも前年を下回った(前年比▲0.4%)。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 5月	6月	7月
総合	0.2	1.0	0.1	▲0.9	▲0.5	0.0
生鮮食品を除く総合	0.2	0.9	▲0.1	▲1.1	▲0.6	▲0.4

<資料>山形県

7. 金融

7月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った(前年比6.7%)。一方、7月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、前年を上回った(前年比2.9%)。

この間、7月の貸出金利は前月から低下した(前月比▲0.004%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 5月	6月	7月
実質預金+CD (未残前年比)	0.1	0.9	0.8	4.8	5.6	6.7
貸出金 (未残前年比)	▲1.1	▲1.0	▲1.6	0.8	2.2	2.9

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2019年 10~12月	2020年 1~3月	4~6月	2020年 5月	6月	7月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.003	▲0.004	▲0.022	r ▲0.008	▲0.014	▲0.004

7月末水準
0.970%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004